小6 社会 歴史 縄文～江戸 穴うめ（20問）　版Qの答え

※ 漢字でもひらがなでも正解です。答えの下の（　）内の言い方でも正解です。

（　　）に入る言葉を、右の欄に書きましょう。

(1) 縄文時代につくられた土の人形を（　　）という	土偶
(2) 大和朝廷のかしらは（　　）とよばれた	大王 （おおきみ でも正解）
(3) 青森県にある縄文時代の大きなむらの遺跡が（　　）だ	三内丸山遺跡
(4) とれた米をたくわえるためにつくられた床の高い倉が（　　）だ	高床倉庫 （高床式倉庫 でも正解）
(5) 堺市にある日本でいちばん大きな古墳が（　　）である	大仙古墳 （大山古墳・仁徳天皇陵古墳 でも正解）
(6) 607年に使いとして隋にわたったのは（　　）である	小野妹子
(7) 東大寺にあり、宝物が納められた倉を（　　）という	正倉院
(8) 世界で最も古い木造建築として知られる奈良県の寺が（　　）だ	法隆寺
(9) 平安時代に『枕草子』を書いたのは（　　）である	清少納言
(10) 人々のために橋や池をつくり、大仏づくりに協力した僧が（　　）だ	行基
(11) 朝廷との戦いのとき御家人に団結をうったえたのは（　　）だ	北条政子
(12) 武士として初めて太政大臣となったのは（　　）である	平清盛
(13) 京都の北山に金閣を建てた室町幕府の3代将軍は（　　）だ	足利義満
(14) だれでも自由に商売ができるようにした政策を（　　）という	楽市・楽座 （楽市楽座 でも正解）
(15) 家来の明智光秀におそわれ京都でたおれたできごとが（　　）だ	本能寺の変
(16) 全国の田畑を調べて、とれ高を記録させたことを（　　）という	検地 （太閤検地 でも正解）
(17) 江戸幕府が大名に守らせるために定めたきまりが（　　）だ	武家諸法度
(18) 「富嶽三十六景」をえがいたのは（　　）である	葛飾北斎
(19) 大名が1年おきに江戸と領地を行き来するきまりを（　　）という	参勤交代
(20) 『古事記伝』を書いて国学を広めたのは（　　）である	本居宣長